

3/68

見分け難しい「せん妄」

アニメ映画「火垂るの墓」の音楽を担当したことで知られる作曲家の間宮芳生さん(90)は、7年前に認知症を疑われた。寝たきりの状態になることもあったが、この2、3年は精力的に創作活動をしている。回復したのは、一時的に意識状態が悪くなる、せん妄だったためだ。

「早期のアルツハイマー病かもしれない」。ふくろうクリニック等々力(東京都世田谷区)の院長・山口

目立った病気はなかったが、目を追うことに気が失われていく間宮さん。認知症かどうかを知る目安となる「長谷川式スケール」で検査したところ、30満点の18点。20点以下は認知症の疑いがあるとされる。食事を作っていた妻の認

知症が進んだ。山口さんが「ご飯食べてますか」と間宮さんに尋ねても返事が無い。血液検査で軽い脱水と低栄養の状態であることが分かった。このままでは2人の命に関わると思った。

山口さんの勧めで、間宮さんはリハビリ病院に入院したが改善せず、介護や食事サービスのある有料老人ホームに夫婦そろって入居した。間宮さんの「異変」に気付いて、わずか2か月の間の出来事だ。

寝たきりの状態だった間宮さんだが、ホームに入ると食事量が増え、立ち上がって歩けるようになった。ウォーキングや筋トレをほぼ毎日続け、1年ほどで見違えるように回復した。

現在も曲作りに取り組む間宮さん。「何かを表現したいという欲求は、年をとっても弱くならないね」と笑うが、「ホームに来た時

のことをよく覚えていない」と話す。

当初は認知症も疑った山口さんだが、当時の間宮さんの環境が整わず、せん妄状態だった可能性が高い」と言う。

せん妄の症状は、物忘れがひどくてほんやりしたり、興奮状態になったりするなど様々だ。高齢者の場合、入院して環境が大きく変わるなど、心身への負担が増す時に起こりやすい。数日で収まることが多いが、長く続くと認知症と見分けが難しくなる。

認知症は、記憶や思考などの認知機能が低下し、生活に影響を及ぼす。似たような症状が出る病気は100種類以上あるという。ただ、早期に見つけければ治療して治るものもある。

山口さんは「栄養状態や風邪薬の服用などをきつかに、自宅にいてもせん妄になることを知ってほしい」と話している。

(このシリーズは全5回)



入居する有料老人ホームのロビーで、アノを弾く間宮さん(東京都内)

記憶力低下 診断は「うつ」

茨城県取手市の自営業Aさん(70)は2015年春、家の近くで車を運転していた、ふいに、帰りの道が分からなくなった。頭や胸が、ぞわぞわするような不快感に襲われた。

異変は続く。同じ頃、次女(47)から栃木県日光市に出かけた時の写真を見せられた。孫たちと一緒に写る自分。1か月ほど前のことだというのが、記憶がない。写真の中でほほえむ自分が他人のように思えた。

運転中の事故を心配する次女らの強い勧めで、車を手放した。

その後も、多い時は1日4、5回、不快感とともに記憶がパツとなくなった。大事な納期などはメモを取り、ミスなく仕事をこなすだけで精いっぱいだった。「見たこともないような険しい顔をしている」。いつも温和な表情を浮かべて



いたのに、すっかり面変わりしたAさんを見た次女は認知症を疑った。順天堂大病院のメンタルクリニックを受診した。MRI(磁気共鳴画像)や認知機能の検査をしたが、特に問題はなかった。身体も異常も見つからなかった。担当医の新井平伊さん(現・アルツククリニック東

京院長)が、Aさんとじっくり話をすると、離婚問題で悩んでいることが分かった。心機一転しようと、東京都内から引っ越したばかりだった。

まじめすぎる性格に離婚のストレスが重なり、自律神経が乱れて軽うつ状態になっていた。精神的な余裕がなくなり、物忘れをじたり、上の空の状態になったりする。新井さんは「うつ病の一步手前の適応障害」と説明する。Aさんは「自覚症状がなかったから、うつと言われたのは意外だった」と振り返る。

高齢者のうつ病や適応障害は、気分の落ち込みといった典型的な症状を示さないことが多い。不眠や身体の不調、焦燥感など様々ある。判断力や集中力、記憶力の低下も見られ、認知症と間違えられることも少なくない。

一方、認知症がある人の約2割がうつ状態になっているという国内外の調査もある。新井さんは「精神疾患は検査結果だけでは診断できない。受診前の様子やその後の経過も含め、長期的に見ていくことが欠かせない」と話す。

処方された抗うつ薬を飲み始めると、Aさんは不快感や物忘れがほとんどなくなった。3年前に離婚が成立。気が戻ってくるのを感じ、車を購入して再びハンドルを握っている。仕事も以前より忙しい。今も月に1度、クリニックで新井さんに近況などを聞いてもらう。「心の健康を確認する、お守りみたいな存在です」

愛車のハンドルを握るAさん。一時は運転免許の返納も検討したという(茨城県取手市)